

平成 29 年度 S セメスター及び S1・S2 ターム  
ティーチング・アシスタント募集要項

改定版

1. 目的

数理科学研究科におけるティーチング・アシスタント(以下, TA)の制度は, 博士後期課程及び修士課程の学生に学部教育の一部を補佐させることにより, 教育の現場を経験させると同時に学部教育の質的向上を図るものである.

2. 対象

原則として, 数理科学研究科博士後期課程及び修士課程在籍の大学院生

3. 職務

授業担当教員の指示を受けて, 以下の業務を行う.

- 1) 教養学部 1,2 年の数学の授業に関する提出課題の添削, 演習等の補助
- 2) 理学部数学科の講義, 演習等の補助
- 3) 教養学部統合自然科学科の演習等の補助
- 4) その他専攻長が指定した科目の講義の補助

4. 採用予定数

60~70 名

5. 期間

S セメスター…4 月 1 日~8 月 31 日 / S1 ターム…4 月 1 日~6 月 30 日 / S2 ターム…6 月 1 日~8 月 31 日

6. 給与

時給 1,400 円 (博士後期課程学生)  
時給 1,200 円 (修士課程学生)

7. 時間数

1 人当たりの勤務時間は週 10 時間を標準とするが, 奨励金を受給しているリーディング大学院コース生および学振特別研究員に採用されている学生は週 5 時間までとする.

委嘱開始時期は 4 月 1 日とし, 勤務時間は職務の内容に応じて定める.

8. 申請手続(コメント)

TA を希望する学生は, 採用申請書を数理科学教務係窓口で受領し, 必要事項を記入のうえ, 提出する.  
なお, 事前に教員から TA の依頼を受けた学生についても採用申請書を提出すること.

9. 申請受付期間

平成 29 年 2 月 13 日(月) ~ 3 月 10 日(金)

10. 申請にあたっての注意

- ・委嘱期間中に TA を辞退することはできない.
- ・数理科学研究科又は他研究科で TA や RA を兼務する場合, また, 自身の授業やセミナーの時間と TA の勤務時間が重複することがわかった時点で必ず報告すること.
- ・教育実習, 出張等により 1 週間以上勤務できないことが予めわかっている場合は, その旨を採用申請書に記入すること.

11. 選考結果の通知

選考結果は平成 29 年 3 月 17 日(金)以降, 数理科学研究棟 1F 事務室前に掲示する.

平成 29 年 2 月 15 日  
東京大学大学院数理科学研究科